



松田美枝さん 絵

第 229 回 例会 1963.12.24 (火) 半晴

例 会 場 鶴岡市一日市町 ひ さ ご や (707番)
 事 務 所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (1563番)

Person to Person
 Club to Club
 District to District

次 回 例 会 予 定

12月31日 (火) 有志スピーチ
 1月7日 (火) 年頭の挨拶 池内会長

○出席報告

本日 の 出 席	会員数 48名	欠	
	出席数 47名	席	菅原君
	出席率 97.92%	者	
前 回 の 出 席	前回出席率 87.50%	メ	金井(勝)君 (東京西北R.C.)
	修正出席数 45名	ク	新野君(酒田R.C.)
	出席率 93.75%	ア	五十嵐(一)君 (東京江北R.C.)

○司 会 池内会長

○ソング 我等の生業 リーダー 安藤君

○ゲスト並にビジター なし

○報告並びに連絡事項

○21日に開催されたXマスパーティーは153名の出席を算え例年のこと乍ら盛大に挙行出来て感謝に耐えない。会計においていさゝか赤字を生じたがこれは今

後の参考資料として考えるべきであろう。

会計早坂君より手元に配布されたXマス精算書につき説明があり、収入109,700円、支出130,140円、差引20,440円の超過が発表された。この赤字は一般会計の親睦委員会の予算より支弁する。

- 去る21日のXマスパーティーに出席し本日の例会に欠席された場合、繰上げ出席として扱うこととする。尚今後もXマスパーティーには例会を併催する方が好ましいと云う態度に決した。
- Xマスパーティーの写真百数十枚小島君の尽力により見事に出来たので会場へ掲示した。御希望の写真を1枚20円宛で注文を受けます。(写真班より)
- 例会への出席成績のよくない会員が2~3人居られるので、この方々には例会毎に出席委員会より出席を促すような方法を強力にこうじてほしい。この要望に対し出席委員会では更に出席奨励に努力する由。
- 元会員佐藤寅之助君が来年1月から再び入会を希望されたので、これを全員に計った。「前に辞められた理由は出席日数が足りなくて自然退会したものならば入会を許すべきでないか、都合のため欠席しがちになつては会に迷惑をかけるからと自発的に退会したのであれば再入会も可能である。」の意見多数であり、佐藤君の入会を了承する。
- スマイル奨励について親睦委員会では度々会員のニュースを発表して来たが場合によつては行き過ぎだと思われる方がいるかも知れません。委員会としてはあくまで心から喜んでスマイルして頂きたいので、お気にめさぬ時は安い単価で結構ですから腹の中から喜んでお出しなるよう特にお願ひする。

○自由討議

(A) 出席について

(三浦君) 先達仕事の都合で何うしても何処のクラブにも出席出来ず最後に仙台から塩釜に走つたが、やつとかけつけたら例会が終つていた。私はもう少しで4年のバッチを頂けるところであり、出席については極めて熱心に努力しているのであるがそれでも出来なかつた。それでこれはルールに反するかも知れないが、クラブの内月5回例会のある場合には前後順序などにかまわずその中で5回出席すれば100%と認めるような便法を考えたらどうか。

(会長) 出席委員長の情状判断によつて判定してはどうか。

(荘司君) 出席は厳粛な規則に当てはめるべきで軽々に決すべきでない。但し三浦君の場合のように努力しても間に合わなかつた場合はその情状を充分考慮されてもよいのではない。

(小花君) 4年バッチはR・Iでは関係のないことで、クラブの出席率向上のための表彰とか親睦増進のためのものであり、全員が諾得出来るものならば情状を考慮してもよいと考える。然し乍ら正式の出席率を決定する場合は世界50幾万の会員に失礼に当るのであくまでも正確であるべきだ。途中止むを得ない不慮の事故があればクラブへ行きその旨説明すればそのR・Cでは心よく出席を認めてアツテンダンスレポートを送つて来ることになつてゐる。

(三浦君) 1回休めば再び0から出発せねばならないので出席意欲をそぐことにもなろう。規則は規則であるが理屈ばかりでなく将来如何に出席意欲を高めるかに重大問題があるのではないか。

(佐藤(伊)君) 出席の取扱いについてはルールを厳密に守るべきである。但し内々の斟酌は別に考慮してもよい。

(張君) 札幌において医学会があつた際、札幌R・Cでは大会場の一角に「マークの方はどうぞ」とわざわざ幹事や会員が出張して受付していた。これは全く便利で親切なもてなしと感心して来た。

(安藤君) 根本的にロータリーでは多くの人と知り合うために例会に出席するのであるから、その根本の目的に照らして考えれば100%の問題と例会への出席という問題も自づと判るものでないか。規則は規則とし、一つは友情として部内で解決出来ることは理事会へ提案して審議出来る筈である。またその情状判定には皆に公平であらねばならないから慎重を要し、軽々しく判定してはならない。

(会長) 結論は出しません。三浦君の提案並びに委員の御意見に敬意を表します。

(B) 国旗掲揚について(第2回)

(荘司君) 国旗掲揚について其の後如何になつてゐるか。

(会長) 現在の段階では会員自ら率先して国旗掲揚に努力することにして、他の団体へ持込んでは相当の批判もあるので、其処までゆかず地域社会の状況を見ながら推進して行きたい。

(荘司君) それは会長の私見であろうか。先般はこの問題について協議する予定であつたと記憶するが。

(会長) その後これについて2、3の方と話し合つたが仲々困難があるようだ。

(石井君) 少々困難があつてもよいことなら実行してはどうかと思う。

(海東君) 商工会議所では既に全国国旗掲揚推進協議会を結成し着々この運動を行なつて行く予定です。

(佐藤(伊)君) 来年はオリンピックもあるので国旗掲揚は自然に出来上がるように思う。日教組といえども国旗掲揚に反対しないと声明を出さざるを得ない現状になつてゐる。国旗掲揚も国歌斉唱も心から出て自発的にやらねばいけないのである。この問題に相当神経を使つてゐる層もあることを充分認識されたい。ロータリーはその音頭取りになることは慎重であつてほしい。ロータリーは人に物を教える教育団体ではないので、それよりも吾々個人の家庭や職場でやつて行けばそのようなムードが高まるのではないか。

(津田君) R・Cは政治運動に関係しない。外国にいざ知らず日本では国旗問題は政治にも関係ある特殊事情があるので、R・Cが政治色に見られる印象を与えないか。やるにしても程度を考慮したい。

(吉村君) NHKのテレビの最後に国旗を出してゐる。あれについても一時は非常な非難攻撃があつたが、これを押し切つて出している。しかし乍らNHKでは国旗を掲揚するよう他へ呼びかけるところまでは行つてゐない。吾々自体が心がけ組織を通じて或いは話合いの場などで国旗を出すようにすべきで、R・C自体が先頭に立つて行なうことには賛成しかねる。

(会長) 今までの発言を要約すればR・Cとしてはこれの推進者にはならないが、会員個人としての立場から国旗掲揚に努力して、そういう社会環境を作り上げて行く方針が現代においては最も望ましいということになる。

○クリスマス・パーティー

- ・期 日 1963・12・21 (土) PM 5.00~8.10
- ・会 場 鶴岡市農協ホール
- ・参加者

招待者・ゲスト.....11名
 アイバンドーナン夫妻とお子様
 山大留学生 パーティスリアダサ君
 会報題図提供の松田美枝さん
 他に元会員や当クラブの関係者等

ピ ジ タ 5名
 酒田 R・Cより石原孝吉君、佐藤勤君、



佐藤源治君、弦巻作治君、小松一君

会 員.....45名
 家 族.....92名
 合 計..... 153名

・プログラム

5.00~5.30 登 録
 5.30 点 鐘 (司会 五十嵐三郎君)
 ソ ン グ 奉仕の理想
 (リーダー 広瀬健吉君)

5.35 会 長 挨拶 池内方平君
 5.40 銀婚式お祝
 6.00 点 鐘
 ソ ン グ 聖しこの夜 (楽団、
 6.05 乾 杯 (斎藤栄作君)
 7.00 サンタクロス・プレゼント
 8.00 ソ ン グ 手に手つないで
 (リーダー 小花盛雄君)

螢 の 光
 8.10 解 散

○Xマス会長挨拶

池内会長

只今から開催されるXマスパーティーはR・Cとしては最大の行事であります。招待者ゲストや酒田クラブの方々並びに会員と家族の皆さんが一堂に会し、楽しい一時を過ごすのであり其の意義は最大のものと思います。

斯の如き楽しみにみちあふれた此の一夜は皆様と共に自分達の幸福を心から感謝し、その反面世の中の日陰でわびしい生活をして居られる人々の身の上にも思いを掛け、この様な人々も亦神様の恵の多からんことを心からお祈りすると共に此の不公平をなくしたいものです。

人類が棲息するようになって数万年を経過し、有史以来でも数千年の歳月が経過して居るようであります。此の長い過去に於いて人間社会の物質文明科学文化は次第に発達し殊に数百年位前からその発達速度は急に早くなり、20年程前と今日とを比較するとその変り方が驚異に値するものがあります。今や世界の科学文明は宇宙征服を目ざして進歩をつづけて居る現状であります。これからも亦より早い速度で進歩するも

のと想像されます。然るに人間の精神文明は如何でしょう。昔も今も大して進歩した点を認識出来ましようか。場合によつては逆行して居るのではないかと考えさせられることすらあります。人間のモラルは進歩しないものではないかと思つて居る位です。キリスト、釈迦、弘法大師等の偉大なる宗教家や哲学者が生まれ、教を授けられたが精神文化は科学文化程進歩したとは考えられない現状です。

それだけに人間社会の科学文明と精神文明の不均衡は人間の社会に危機をもたらす危険が伏在して居るものとも云えます。

世界的平和主義の指導者であつた米大統領ケネディさんが不心得な気遣いに暗殺された一事を見ても危険を想像することが出来ます。

私共ロータリアンは此の世界の不均衡を少しでも是正して人間の生活に不安を少なくすると云うことがその使命かと思つて居ります。

R・Iの会長カール、P・ミイラー氏は今年のご目標として国際理解のため東北地区(352地区)は欧州のオーストリア地区(181地区)と交通をやりなさい。写真スライドや学校生徒の作品の交換をやりなさい。そして相手方を理解する、相手国を理解すると云うことによつて人間社会のひびきを少なくすると云うことにより力を入れて居ります。そんな理由に最近急に外国から手紙が増えて来ました。手紙に対する返事等事務的には大変ですが、之も亦ロータリアンの平和への奉仕の一端かとも考へて居ります。

ロータリーと云うものは困つた人に物や金を恵むと云う様な慈善事業団体ではなく又政治団体では勿論なくそれかと云つて社交団体でもなくその本質は飽くまで吾々の職業を通して世の中に貢献する精神文化の推進に特に力を尽すべき奉仕団体であります。このことを御家族の皆さまも御理解下さるようこゝにクリスマスパーティーの席をお借りしてお願いで御座居ます。

○銀婚式祝賀

会長祝詞

今度のパーティーから会員の皆様の中で、老同穴の契25年以上を経過された方々に銀婚の御祈をすることになりまして親睦委員会の方々の御骨折により此の席上御祝の記念品を贈呈することにいたします。

人生50年とは私共の記憶にまだ判然として残つて居ります。昔でしたら銀婚式を迎えることの出来る方は本当に恵まれた方であつたと思つて居りますが、最近では医学の進歩により今日では人生70年と不思議に思ふ方は少ないと思つて居ります。このように人間の寿命は20も延びましたが矢張り25年と云う期間は各人にとりましては「喜びも悲しみも幾年月」と云う夫婦として、親とし

て最も困難の時であり、又社会人としても、職業人としても責任の重い時であります。皆様はこの苦勞の時代を無事に突破して今日の幸福を迎えられて居るのであります。特に夫唱婦隨の精神で内助の功を擧げて来られた奥様に対し心から尊敬と感謝の気持ちを擧げます。

本日のお祝に該当される皆さまには尚一層健康に御留意あつて金婚式を迎えられることを心から願つて居る次第であります。そして皆様のこれからも一層の御多幸を祈つてやみません。何卒このパーティーを意義あらしめるため充分楽しんで頂き度いのであります。

銀婚式祝賀会員夫妻の芳名 (敬称略)

- | | |
|-----------|-----------|
| ✓ 手塚 林 蔵 | ✓ 石井 貞 吉 |
| 定 栄 | と め |
| ✓ 岩 網 末 松 | ✓ 五十嵐 伊市郎 |
| えみ子 | 甲 |
| ✓ 莊 司 繁太郎 | ✓ 齋 藤 得四郎 |
| 貞 恵 | 脩 子 |
| ✓ 新 野 武 | ✓ 佐 藤 仁太郎 |
| は る | 重 子 |
| ✓ 鈴 木 善 作 | ✓ 皆 川 仙 吉 |
| 富 | つ や |
| ✓ 鈴 木 弥一郎 | ✓ 小 花 盛 雄 |
| 須美子 | 春 子 |
| ✓ 三 浦 岩治郎 | ✓ 金 井 勝 助 |
| きよみ | 百 子 |
| ✓ 谷 口 晴 敏 | ✓ 今 間 壮太郎 |
| 美代子 | よしへ |
| ✓ 早 坂 源四郎 | ✓ 菅 原 主 純 |
| 佐枝子 | きくよ |
| ✓ 鷺 田 克 己 | ✓ 佐 藤 伊和治 |
| 清 子 | 奈津子 |
| ✓ 齋 藤 栄 作 | |
| 貢 | |

○幹事報告

○Xマス・カード到着 台南R・C

○会報到着 塩釜R・C

(普通三回)臨時変更

12月28日の例会を都合のため12月27日(金)に変更。会場並びに時間は平常通り。

○ニコニコ箱

早退のため 阿部君、五十嵐(伊)君
歳末助合運動に美声を添え 池内君、海東君
お誕生おめでとう 津田君
東通りにミルクホールを開いて 鈴木君
Xマスに参加出来ず 張君

○本日の献立

さしみ一膳、いか、芝えび。焼物一ぶり、照焼。
吸物一膳、岩のり。